令和8年度　日野市立 日野第一小学校　経営重点計画　自己評価シート　令和8年6月公表

★学校の教育目標	○かしこい子　○やさしい子　○元気な子	★重点計画の概要
★目指す学校像（ビジョン）		「安心できる学校」を実現するむための具体的な取り組み ①　自ら課題をもち、仲間と共に解決し、確かな力を身に付ける授業づくり ②　さまざまな仲間と共に、自分たちの生活を自分たちでつくる活動の充実 ③　安心できる環境（組織体制と学校環境）づくり ④　継続的・発展的な学校運営の改善
【目指す児童像】	子供たちが自分たちの力で、『今より もっと楽しい学校』をつくるために、課題を見つけ、仲間とアイデアを出し合いながら、主体的に行動できる子供	
【目指す学校像】	日野一小をすべての子供の活躍の舞台にし、子供たちが主体となって『今より もっと楽しい学校』を共に創り出していく学校	
【目指す教師像】	教職員が子供の伴走者になり、すべての子供たちの可能性を最大限に引き出し、自己実現へとつなげる教師	

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準	
				取組指標	成果指標
みんなが当事者として、自ら歩む道をつくる	子供たちが自分たちの力で「今より　もっと楽しい学校」をつくる	「安心できる学校」（すべての子供に「居場所」と「活躍の場」がある学校）を実現する	多様な他者との関わりや体験的な学びを工夫し、学校生活の中で子供たちが自然と『ありがとう』と感謝を伝え合える場をつくる。互いを認め合う言葉の連鎖を通して、すべての子供が安心して活躍できる授業・学級経営を行う。	4　具体的方策に教員の１００%が取り組んだ。	4　実施状況について、90%の保護者・児童から肯定的な評価を得た
				3　具体的方策に教員の９０%が取り組んだ。	3　実施状況について、80%の保護者・児童から肯定的な評価を得た
				2　具体的方策に教員の８５%が取り組んだ。	2　実施状況について、75%の保護者・児童から肯定的な評価を得た
				1　具体的方策に取り組んだ教員が８５%未満だった。	1　実施状況について、肯定的な評価は75%未満だった
		個に応じた指導や多様な学び方を設定した授業を充実する。	学力調査等のデータから、個々の児童の課題を明らかにするとともに、学習形態の工夫やタブレットPC等の活用、児童が考えたことをアウトプットし合う主体的な学習の充実に取り組む	4　具体的方策に教員の１００%が取り組んだ。	4　実施状況について、90%の保護者・児童から肯定的な評価を得た
				3　具体的方策に教員の９０%が取り組んだ。	3　実施状況について、80%の保護者・児童から肯定的な評価を得た
				2　具体的方策に教員の８５%が取り組んだ。	2　実施状況について、75%の保護者・児童から肯定的な評価を得た
				1　具体的方策に取り組んだ教員が８５%未満だった。	1　実施状況について、肯定的な評価は75%未満だった
みんなの多様な学びとしあわせをつくる	自他のよさに気付き、それを生かし合う教育の実践	全ての児童が安心して生活できる環境を整備し、配慮を要する児童一人一人に応じた支援を充実する。	ステップ教室やふらっとルームと在籍学級との連携を図り、組織的な支援の充実に取り組む。また、さくら組と通常学級との継続した連携やさくら組における個に応じた指導の充実に取り組む。	4　具体的方策に教員の１００%が取り組んだ。	4　実施状況について、90%の保護者・児童から肯定的な評価を得た
				3　具体的方策に教員の９０%が取り組んだ。	3　実施状況について、80%の保護者・児童から肯定的な評価を得た
				2　具体的方策に教員の８５%が取り組んだ。	2　実施状況について、75%の保護者・児童から肯定的な評価を得た
				1　具体的方策に取り組んだ教員が８５%未満だった。	1　実施状況について、肯定的な評価は75%未満だった
		児童が自らの学びを振り返り、「できた」、「わかった」、「高まった」を感じる授業づくりをする。	日野スタンダードを基盤に、ユニバーサルデザインの考え方による授業を実践する。また、校内資源の活用やエール等の外部機関との連携を図り、特別支援教育の充実に取り組む。	4　具体的方策に教員の１００%が取り組んだ。	4　実施状況について、90%の保護者・児童から肯定的な評価を得た
				3　具体的方策に教員の９０%が取り組んだ。	3　実施状況について、80%の保護者・児童から肯定的な評価を得た
				2　具体的方策に教員の８５%が取り組んだ。	2　実施状況について、75%の保護者・児童から肯定的な評価を得た
				1　具体的方策に取り組んだ教員が８５%未満だった。	1　実施状況について、肯定的な評価は75%未満だった
社会と未来に開き、みんなでつくる	つながりを大切にし、児童が主体的に取り組む教育活動の実践	人とつながるよさを実感し、自己肯定感を育む活動を充実する。	たてわり班活動や異年齢の交流活動を定期的に行い、児童が異年齢で遊んだり活動したりするよさに気付いたり、自ら活動を充実させたりできるよう指導・支援に取り組む。	4　具体的方策に教員の１００%が取り組んだ。	4　実施状況について、90%の保護者・児童から肯定的な評価を得た
				3　具体的方策に教員の９０%が取り組んだ。	3　実施状況について、80%の保護者・児童から肯定的な評価を得た
				2　具体的方策に教員の８５%が取り組んだ。	2　実施状況について、75%の保護者・児童から肯定的な評価を得た
				1　具体的方策に取り組んだ教員が８５%未満だった。	1　実施状況について、肯定的な評価は75%未満だった
		地域の教育的資源を生かした学校運営や学校運営協議会との協働により学校運営の意志を図る。	地域の施設や人材を活用した学習を全学年で行い、地域への愛着を育む活動に取り組む。また、近隣の幼稚園や保育園、中学校と連携し、学びの連続性や円滑な接続を意識して活動に取り組む。	4　具体的方策に教員の１００%が取り組んだ。	4　実施状況について、90%の保護者・児童から肯定的な評価を得た
				3　具体的方策に教員の９０%が取り組んだ。	3　実施状況について、80%の保護者・児童から肯定的な評価を得た
				2　具体的方策に教員の８５%が取り組んだ。	2　実施状況について、75%の保護者・児童から肯定的な評価を得た
				1　具体的方策に取り組んだ教員が８５%未満だった。	1　実施状況について、肯定的な評価は75%未満だった

※評価指標・評価基準は、２の段階を現状としています。